こおりやまエリアプラットフォーム　＜こおりやま広域圏連携事業＞

事業概要	PPP／PFIの更なる推進を図るため、官民対話の場として「こおりやまエリアプラットフォーム」を開催し、 PPP／PFIの具体的な案件形成を目指す。	目指す効果	・ PPP／PFIの具体的案件形成 ・サウンディングによる課題解決

◇こおりやまエリアプラットフォーム
株式会社東邦銀行との包括連携協定に基づき、平成29（2017）年度に構築。
開催のテーマに合わせ、大手建設業者、地元企業、銀行、コンサルティング会社、地方公共団体の職員　等　産官学金の分野から参加

郡山市 ⟷ 包括連携協定 ⟷ ㈱東邦銀行

こおりやまエリアプラットフォーム

【メリット】
・意識醸成、ノウハウ取得
・情報交換・発信、官民ネットワーク形成

▶ 案件形成・課題解決

◇対象案件の具体例
・既存公共施設の改修等を検討しているもの（単独改修や集約化・複合化　など）
・公的不動産の有効活用（遊休地・廃校など）
・新規施設の整備
・その他PPPの活用検討（Park-PFIやデザインビルド方式　など）

過去の取組み・検討状況

▼ 市営住宅（希望ヶ丘・日吉ヶ丘・仁池向・安積）【平成30（2018）年１月】　検討開始年度：安積「2018」
・「導入すべき付帯機能、団地全体の整備・維持管理手法、集約移転後の跡地利活用」について意見交換
共通意見として付帯機能はなるべく民間事業者からの自由提案、管理運営は、BTO方式を基本として、指定管理者制度を導入すること、跡地については民間へ売却
→　令和４年度に指定管理者を公募、令和５年度から指定管理者による管理運営を予定

▼ 開成山公園【平成30（2018）年12月】
・Park-PFI（公募設置管理制度）の導入をテーマに「魅力、課題、市場性、Park-PFIで検討できること」について意見交換
→　令和２年度「開成山公園Park-PFI導入支援業務」を実施、令和４年度に整備事業者等を公募、令和６年度の供用開始を目指す

▼ けんしん郡山文化センター【令和２（2020）年２月】　検討開始年度：「2018」
・「施設の稼働率を向上させる施策、最適なPPP/PFI手法」について意見交換
→　令和３年度「郡山市文化施設の躯体・設備等調査及び民間活力（PPP/PFI）導入可能性調査業務」を実施

▼ 郡山カルチャーパーク【令和２（2020）年９月】　検討開始年度：「2020」
・「施設のあり方、最適なPPP/PFI手法」について意見交換
→　令和３年度「郡山カルチャーパーク施設健全度調査及び民間活力(PPP/PFI)導入可能性調査業務」を実施